



第3回中国百科検定の実施に向けて

—広島で中国地区代表者会議開催—

日中岡山支部は、2月の理事会で来年3月に予定されている、第3回検定を岡山市で開催することを決めました。

第2回の受験者(14人)の倍を目標に取り組みことを確認しました。受験生の増大は、それだけ中国への関心の高まりをあらわし、正しい理解

の拡がりにもつながり、日中友好のためにもたいへん意義のあることだと話し合いました。

現在、日中本部は、各ブロックで会議を開き、各支部から出された第2回検定の反省点をふまえて、試験問題の設定、PRの方法、とりわけ若者の受験者をどうやって増やしていくかなどについて、中国百科検定実行委員会検討を深めています。

現在までにわかっている
実施予定

◎開催日

2017年3月20日

(月・春分の日)

15:00～15:50

◎岡山での開催場所

岡山県国際交流センター

◎実施検定級

3級(ものしりコース)

2級(中国通コース)

1級(百科老師コース)

この道は中国通への道

地理・民族・宗教・世界遺産・政治と法・経済と産業
古代文明～唐代・宋代～清代・近代史・言語・文学
映画・食文化・スポーツ文化・風俗習慣

中国ブロックでは、3月2日には、中国地区第2回中国百科検定試験実施組織(米子、岡山、山口、広島)の代表者会議を広島で開きます。岡山からは小林事務局長が参加します。

なお、中国百科検定の公式テキスト「中国百科」(税込3000円)は、岡山の平和書房で販売しています。

また、中国百科検定の想定問題集(1000円)も販売しています。

日中友好協会岡山支部までお申し込みくださってもかまいません。

ぜひ多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

日中
おかやま
読字 原田 鏡
No. 791
2016/ 3/5
日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒731-0085 岡山県中区北原1-1-1
TEL:086-441-8073 FAX:086-441-8074

日中友好協会
岡山支部
〒730-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.biz/>
メールアドレス
rzhong86@hotmail.co.jp



左から劉会長 曾田さん センターの職員

日中岡山支部パネル展開催

2月18日～24日まで、岡山県国際交流センター一階ロビーで「日本中国友好協会を知ってもらおう」とパネル展を開催しました。

今回は、パネルを日中カレンダーの大きさに統一して展示しました。中央には日中友好協会の説明をした展示と、現在もっとも力を入れて取り組んでいる、中国百科検定について掲示しました。左側には太極拳、きりえ展、中国語講座、日中岡山の望年会の様子など文化的な活動を、右側には日中不再戦の宣伝、中国帰国者の写真展、平和七夕まつり、開拓団の足跡をたずねる日中友好の旅などを掲示しました。

17日に曾田、小林理事で展示の準備が完了したところへ華僑華人総会の劉会長とセンターの職員が見えられたので、曾田さんが展示の内容について説明しました。

今後も展示内容を充実させ、多くの人々に観てもらおうようにしたい。

芳田日本語学習講座

—日本語の勉強は私の趣味—

日中岡山支部が主催する、中国帰国者の芳田日本語学習講座は、今年で5周年を迎えます。

講師6人で楽しく学習しています。

これまで吉備中央町の岡崎嘉平太記念館や真庭市勝山の旧遷喬尋常小学校の見学など、校外学習を行いました。

この講座は、2011年4月に開講しましたが、受講者の居住地の関係で、10月から芳田公民館に移り、今日に至っています。現在は講師3人、受

また、地元の小学生や地域の人々と中国料理教室を通じて交流し、日中友好に貢献

してきました。

今年の10月には、芳田公民館で地元の人々にも参加してもらい記念行事をしたいと思っています。

さて、今回は、受講生で中国残留婦人二世の益田聖子さんの短文を二面に紹介しま

私の大切な絵本

宇垣 信子さん

701-1223 岡山市北区大窪770-114

2月2日付本紙の「再生の大地」合唱団とは「の中で紫金草物語」という言葉ですぐに本棚から出てきました。

大門高子さんの文で、むらさき花だいいこんの絵本です。

あとがきにむらさき花だいいこん、オオアラセイトウ、諸葛菜、紫金草などいろいろな名前が呼ばれている紫色の美しい花です。日中戦争のころ、薬学者で陸軍にいた山口誠太郎さんが南京から花の種を持ち帰り「紫金草」と名付けて広めてきたそうです。誠太郎

さん亡き後はご子息の裕さんが平和の花だいいこんの会を作り百数十万袋もの種を配ったといひます。その絵本の間に2000年4月15日付の中日友好新聞の切り抜きが、赤茶けてはさんであります。それには紫金草の写真と合唱団の写真が載っていて、紫金草合唱団、ふるさと南京で公演」と記されています。友人に見せたら、友人は花を庭に植えていて以前、毎年花束をどけてくれました。また、ヘルパーさんに見せたら「貴重な本です」と言っていました。

私は17年前に日中友好協会から竹内和夫先生のお世話で10人の仲間と南京に行った懐かしい思い出があります。大門高子さんより(本の帯に)人間として生きるのに、忘れられないことがある。忘れてはならないことがある。中国の大地から持ち帰った花「むらさき花だいいこん」ももからおとなまでいつしよに読んでくださいい絵は松永禎郎さんでも美しい絵です。新日本出版社から出ています。

絵本 むらさき花だいいこん (1500円+税)



微笑みの国ラオス・ハノイ7日間の旅

河井 伸士

岡山AALAが企画したラオスへ行ってきました。ラオスとはインドシナ半島にそんな国があつた程度の印象でした。面積は23万km²、人口は650万人、首都はビエンチャンです。49の民族が住んでいる。永くフランスの植民地だったが、1975年に社会主義国家となった。その後ASEANグループに入った。

1月24日ハノイからラオス

航空機でルアンパバーンに入りました。この日は東南アジアを寒波が襲い、台湾、日本でも死者が出るほどでルアンパバーンでも60年ぶりの寒さだった。翌日のメコン川クルーズは最悪だった。クルーズ船に囲いもし寒風の中片道1時間半、往復3時間の寒行だった。ルアンパバーンのホテルには冷房はあるが暖房はない(普通必要ない)シャワーの湯は容

量が少ない上にそのホテルに日本人の団体が2組泊まった。湯船に日本人は湯を入れる習慣があるから途中から湯が出なくなり水が出る。震えながら半分ほどしか眠れなかつた。しかしラオスの食事はおいしかった。米の麺で作ったホーとか春巻き(揚げたもの、生)、ビールもビアラオという国産でウマイ、ショウチュウもよかつた。

翌朝は午前6時から雨の中、食料品を入れることが出来る。その後ビエンチャンに移動し、ラオス大使館に申し込んでいたラオス市民団体青年同盟、女性同盟との懇談をした。その中で意見交換、質問などもでき有意義だった。NGO 障害者施設クッキー工房で指導する青年や、公的職業訓練所で指導する海外協力隊の日本人が活躍しているのを見学した。

ラオスは国土の70%が山岳、森林地帯で産業は未発達、GDPは1.5兆円程度、生活程度は貧しい。ただ地下資源はあるらしい。観光産業を国の方向として目指している。

帰路ハノイに寄った、ベトナムはラオスと違いドイモイ政策で産業が発達していて町に活気があつた。ベトナム友好団体との懇談ではおおむね意見が合ったが最後に「日本が原発を売りこんでいるが危険だからやめなさい」というと、政策で2020年までに先進工業国の仲間入りを目指しているのに電力は欠かせない」と歯切れが悪い返事だった。

この企画に参加した16人ほとんどの人がラオスは初めてでした。観光もよかつたが、両国の友好団体、市民団体との交流、懇談が有意義だった。

日本語の学習は難しいがおもしろい

益田 聖子

私の趣味は日本語の勉強です。2012年5月から芳田公民館の日本語学習講座で勉強しています。ここ数年、日本語を教えてください、大変感激しています。

初めのころ、日本語が全然わからないので、単語だけ話していました。守本さん達が日本語をべらべらしゃべる時は、とても羨ましく思います。私もいつか日本語で話したいです。日本語を上手になるために、いつも家で勉強しています。発音をして、本を読みます。

わからないことは辞書で調べて、だんだん発音だけでなく、話も前より上手になりました。ますますおもしろいと思います。ときどきは先生のほめ言葉を聞いてうれしかったです。日本語の勉強は難しいですがおもしろいです。日本語の勉強は私の趣味です。

2・9



ルアンパバーンの Haw Pha Bang



左から2人目が益田さん

次回の新聞発送作業は3月11日(金)午後2時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 和
小林 内
小竹 内
竹内 井
坪井 本
光